

【伊方の停止却下】原発事故の教訓どこに

f シェア ツイート

四国電力伊方原発3号機について、広島県の住民らが運転停止を求めた仮処分の申し立てを広島地裁は却下した。

福島第1原発の事故後に策定された新規制基準は「不合理とは言えない」とし、四電が策定した耐震設計の目安となる基準地震動も「適正」と判断した。

同様の仮処分では関西電力高浜原発3、4号機を巡って大津地裁が昨年3月、運転を差し止めた。これに対し大阪高裁は3月28日、差し止めを取り消す決定を下した。

ともに電力会社側の主張をほぼ認めている。これは深刻な原発事故の教訓を真摯(しんし)に踏まえた判断なのか。疑問を禁じ得ない。

広島地裁は争点の基準地震動について、四電は詳細な地盤調査を行い、さまざまなケースを想定し適正に定めていると判断。これに基づき原子力規制委員会が「新規制基準に適合する」としたことも不合理ではない、とみる。

電力会社や規制委の方針を追認するかのような姿勢である。

そこにあるのは高度な科学的知見を必要とする原発運転の可否は専門家に任せるとしてきた、司法の「旧態依然」たる姿ではないか。それこそが最悪レベルの原発事故につながったのではなかったか。

そう考えれば「フクシマ」以前に「先祖返り」した司法判断のようにも受け取れよう。

伊方原発の近くには、国内最大級の活断層「中央構造線断層帯」がある。それを踏まえて、四電が策定した基準地震動を過小評価とみる専門家の指摘がある。

避難対策への不安も根強い。細長い佐田岬半島の付け根部分にある伊方原発で事故が起きた場合、避難計画では原発の横を通って内陸側に逃れる。その道路が寸断されれば船で対岸の大分県に向かう。しかし、混乱の中で本当に迅速に避難できるのか。疑問視する声は絶えない。

にもかかわらず広島地裁は、伊方原発で事故が発生し、住民が重大な被害を受ける具体的な危険がないことを四電は立証したと結論づけた。想定を超える規模の地震が発生することへの不安や、避難計画への懸念を抱く住民にとって、広島地裁のこの決定はどれだけの説得力を持つだろう。

高浜原発の運転を差し止めた大津地裁は、新規制基準は福島第1原発事故の原因究明が道半ばの中で策定されたと指摘。関電の耐震基準の策定などにも疑問を呈しており、今回と正反対の考え方を示している。

司法判断が二分されたり、めまぐるしく変わったりすること自体、原発の安全性を確保することの難しさを物語っている。

今回の決定は政府の原発帰還路線にお墨付きを与えるものではない。広島地裁は四電による地震想定合理性について、「なお慎重な検討を要すべき問題がある」とも述べている。今後とも検証と議論を続けていく必要がある。

カテゴリー：社説



友だち追加

アクセスランキング 一覧

- | 24時間 | 1週間 | 1ヶ月 |
|------|-------------------------------|-------------------|
| 01 | パロディー菓子メーカーの新作続々 | 高知県の橋村政海さん手作り |
| 02 | 高知市の菓子メーカー青柳が「土左日記」64年目で包装を一新 | |
| 03 | 高知県大月町の月光桜ライトアップ4/16まで延長 | |
| 04 | 夜の高知城を幻想的に | 高知市で「高知城花回廊」4/9まで |
| 05 | 高知県香南市の西川花公園で西川花祭り | ハナモモや桜、菜の花 |
| 06 | 高知県西部の食と景色満喫 「とさぶし列車」運行 | |
| 07 | 民進、長島氏を除名処分へ | 野田幹事長は議員辞職要求 |
| 08 | 高知市の前田さんが66歳で正看護師「姉の死がきっかけ」 | |
| 09 | 「未来照らす笑顔」高知市で赤ちゃん会 | |
| 10 | きんこん土左日記 | |



特集 一覧

声ひろば 2017年4月11日、火曜日

高知FDでマニースらしさ全開 高打